

| Minami Kyushu University Syllabus |  |         |                           |                 |                |      |     |
|-----------------------------------|--|---------|---------------------------|-----------------|----------------|------|-----|
| シラバス年度                            | 2021   | 開講キャンパス | 都城キャンパス                   | 開設学科            | 環境園芸学部         |      |     |
| 科目名称 [英語名称]                       | 英語コミュニケーション I [English Communication I]  |         |                           | 実務経験<br>教員担当    | アクティブ<br>ラーニング | ○    |     |
| 科目コード                             | 142050   | 授業形態    | 講義                        | 単位数             | 2              | 配当学年 | 1年次 |
| 教員氏名                              | ブライアン・スモール   |         |                           | 学位授与の方針<br>との関連 | DP1(2),3(3)    |      |     |
| 授業概要                              | 授業の目的は広く使える言葉を創造的に使えるようになることである。動詞 (Acts) を4つと前置詞 (Directives) を5つで自由自在にセンテンスを組んで、英語で多くの表現できること。日常の状況を英語で表現できるようになる。   |         |                           |                 |                |      |     |
| 関連する科目                            | 一步一步、段階的に英語を習うので、問題解決パターンと発見型の習い方はどんな科目・分野にも通用する。  |         |                           |                 |                |      |     |
| 授業の進め方と方法                         | 1. ライブ シチュエーション: 実際の物と動作で言葉・センテンスの意味を見て、経験する。2. ペアワーク: 小グループで実部を使って、動作しながら言葉を使う。3. 線画: ホワイトボードで線画を見て、経験した言葉・センテンスを言う、書く。3. ワークシート: A4紙のシチュエーションの線画に合わせて、文を書く。4. 回収: ワークシートの学籍番号と氏名を見て名簿を記入する。 b. 先生がワークシートを訂正して返します。次回の授業の始めに学生が教室に入ったら、ワークシートを参考(復習)にする。  |         |                           |                 |                |      |     |
| 授業計画                              | ワークシートの様子を見てから内容・順番を変えることがある。<br>1. English Through Pictures(絵で見る英語1 EP1) pages 1-7<br>1. I/You/He/She/It/They am/is/are here/there<br>2. EP1 pages 11-13<br>1. This/That/These/Those, my/your/his/her, hand(s)/head/hat(s)/pen...<br>3. EP1 pages 8-10<br>1. a/the, in/on, table/seat/box...<br>4. EP1 pages 14,16<br>1. on/off, will take/is taking/took<br>5. EP1 pages 15<br>1. will put/is putting/put,<br>6. EP1 pages 14-16, 21 expansion<br>1. it/them, was/were<br>7. EP1 pages 17-18, Re-view<br>1. a/the, man/woman/men/women...<br>2. Mid-term Re-view Test<br>8. EP1 pages 19-21<br>1. will give/is giving/gave, to, was<br>9. EP1 pages 22-23<br>1. water, bottle, glass, cup..<br>10. EP1 pages 24-25<br>1. an/a/the, an, arm/hand/thumb/fingers/head/nose/eyes/mouth/ears..<br>11. EP1 pages 25, 26-27, 28<br>1. a/the, its, of<br>12. EP1 pages 10, 26, 28<br>1. a/the, thumb/door/floor, windows/fingers...<br>13. EP1 pages 10-28 review<br>1. a/the, -s, of, its<br>14. EP1 pages 28-29<br>1. at, will go/is going/went,<br>15. EP1 pages 1-19, review<br>1. Review:<br>- is (am, are, was, were), take (taking took), put, give, go,<br>- off, on, to, from, at |         |                           |                 |                |      |     |
| 授業の到達目標                           | 1. 「絵で見る英語」の最初の30ページ(プラス、マイナス $\alpha$ )を使って、自分の英語(文)が正しいかどうか、自分でチェックして判断できるようになる。[理解を応用し活動する能力]<br>2. 「絵で見る英語」のシンプルそうな数少ない言葉を広く使えるようになること。[国際性の涵養、多様な言語を活用]   |         |                           |                 |                |      |     |
| 授業時間外の学修                          | 【予習】「絵で見る英語」を熟読し、授業で経験した内容を把握する」<br>「把握した内容から、次回のステップを推測する。ギリギリだけでまだ言えない場面はどんな場面か考える」<br>【復習】「把握したセンテンスをどれぐらいの場面に活用できるか考える。」<br>「教科書の展開したかた、と授業の展開が違う場合はどこが違うか、比較して一步一步の学習プロセスを考える」  |         |                           |                 |                |      |     |
| 課題に対するフィードバック                     | ワークシートの線画に書く文の訂正。独自の線画と文章の訂正。ワークシートの感想・コメント欄の返事  | 評価方法    | 授業とワークシートの努力20点、定期テスト、80点 |                 |                |      |     |
| テキスト                              | 「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」 I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著)   |         |                           |                 |                |      |     |
| 参考書                               | - 「First Steps in Reading English 絵で読む英語」 - I・A・リチャーズ (著者)、クリスティン・ギブソン (著者) - 「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」 - 「絵で見る英語 Book 3 改訂新版 English Through Pictures Book 3」 - I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著) - 出版社: IBCパブリッシング - 「ベーシック先生の基本動詞でこれだけ言える英語術」 著者: A Group of Basic English Teachers 出版社: 松柏社   - 「850語で考える英語 English Made Simple」 ベーシック イングリッシュ 著者: 後藤 宏、出版社: 松柏社  |         |                           |                 |                |      |     |
| 備考                                | ワークシートの学籍番号と氏名が出席管理に使用する。   - 教科書を授業に持って来る。  - 授業が始まる前に前回のワークシートを取って、参考にする。  - 授業に入る前から携帯電話の電源を切る。  - 携帯をバッグに入れておく。  - 毎回、ワークシートの絵に合った英語文章を書く。  - ワークシートに学籍番号と名前を記入   - 学籍順にワークシートを集めて提出する。  - ワークシート提出が出席の証拠   - 最初は英語が簡単だがしっかり授業を開かないと、その簡単な英語すら言えなくなる。  - 毎授業ごとに新しい単語が加わる。  - よって、一度でも欠席すると次回の講義は理解が困難になる。  - しっかり授業を15回受けていれば理解できる。  - 再試は行なわない   - 暗記ではなく、考えて書く試験であるので短期間の独学で習得は無理である。  - 再受講し、1から習い直し、外国が習える自信がついた方が本人の為である。  GDM 教授法: <a href="http://www.gdm-japan.net/">http://www.gdm-japan.net/</a>   |         |                           |                 |                |      |     |